

今 の 僕 は 私 に な っ て し ま っ て い る · · · · ·

140

萩原良昭

### 今の僕は私になってしまっている

二月一日 土曜日

今の僕は私になってしまっている

近頃、朝は座れない日が続いたが、

今日は、満員電車にもかかわらず、座れた。

僕はそうだと知らなかつたが、  
丹波橋で降りる男の人の前に立つて、  
偶然、その前に立つたお蔭で座れた。

三条京阪のバス停ではあの子はいなかつた。  
いないだけで、僕はがっかりする。  
今日一日、暗くなる。

放課後、すぐさま、めしを食い、  
一時十五分のバスへと急いだ。

帰りも僕は一人電車に乗る。  
まわりに人がいるが、孤独感がつのり、  
ひとりぼっちの気がして寂しい思い。

家に帰つて、すぐ絵を書きにゆこうとした。  
英会話の通信添削のティープがもう来そな  
と思っていたが、やはり、来なかつた。ものだがなあ

五円玉、六つ持つて、自転車で田んぼ道を走り、  
観月橋を渡り、文具店へ行つた。

五円の画紙を二枚と、押しピン（二十円）を買った。  
家に戻り、絵の具を用意した。